

東京外環  
(関越～東名)

GAIKAN

2005年7月

# 外環journal

## ジャーナル

第18号

(発行所)国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所

〒158-8580 東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7F TEL/FAX 0120-34-1491 (外環専用ダイヤル)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

# 外環の必要性の議論進む

平成16年10月の「P-I外環沿線協議会2年間のとりまとめ」を踏まえ、外環について話し合う「P-I外環沿線協議会」(以下、P-I会議)が17年1月18日に発足しました。P-I会議はP-I外環沿線協議会の協議員経験者と国土交通省、東京都、沿線自治体の担当者で構成されています。会議では、「2年間のとりまとめ」において「今後の課題」とされた事項や外環の必要性について、話し合いを行っています。

第1回会議では、「2年間のとりまとめ」において「今後の課題」とされた事項など、会議の議題について確認されました。また、「環境の現地観測結果」(四季)が提出され、大気質、騒音、振動から人と自然との触れ合い活動の場などについての1年間の調査結果が報告されました。

第2回会議では、「外環の将来交通量」を提出、説明と質疑応答や意見の交換が行われました。

またこの他、外環の東名以南がない場合の交通の変化及び5箇所のインターチェンジがある場合の交通量についても推計結果を示しています。

これに対して委員からは、推計の手順、整備費と料金収入の関係、自動車の走行台キロの推移などについて質問と意見が出されました。

### 1日約10万台の通行を推計

将来交通量は、平成42年(25年後)時点の外環や周辺の主要道路の交通量を推計しています。推計された1日の交通量は、関越道中央高速が9万8000台、中央道と東名高速が9万5000台となっており、インターチェンジがない場合。

主要道路の交通量を現在と比べると、現在6、7



第1回P-I外環沿線協議会

### 環境の現地観測の結果が出揃う

東京外かく環状道路について、環境への影響をより詳細に把握するため、平成16年1月から実施した環境の現地観測(四季調査・通年調査)の一年間の結果が出揃いました。これを取りまとめた結果は、外環ホームページで公表しています。



① 大気観測の様子(平成16年4月16日、三鷹市中原小学校)



② 地質観測の様子(平成16年1月27日、世田谷区区道)  
③ 大気観測の様子(平成16年1月28日、三鷹市幸礼下本宿児童遊園)

### 外環の必要性をとりまとめた資料を提出

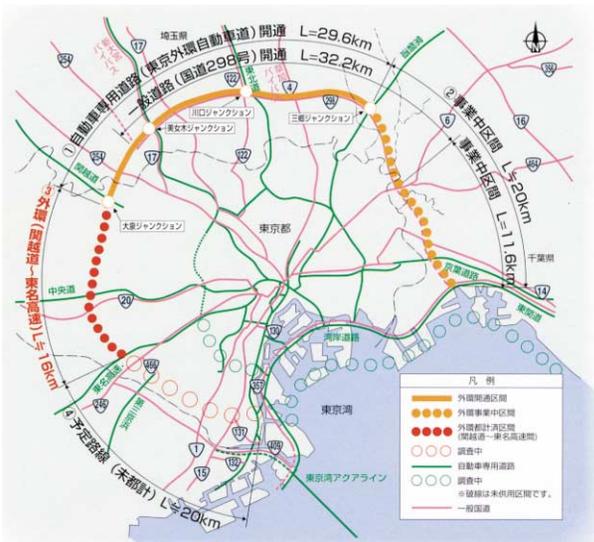
第4回会議では、「外環の必要性(案)」が提出され、説明と質疑応答が行われました。この資料は「首都圏の交通問題の原因」「交通政策の考え方」「交通政策の基本方針」「外環整備のねらい」「外環の整備効果」「地上区間からの影響」「地下区間からの影響」「地下水への影響」「ジャンクションやインターチェンジ付近における生活への影響」「移転

棟数と地域分断」「交通集中」などの項目で構成されており、外環の効果と影響についてとりまとめたものです。

第5回会議では、主に交通政策の考え方や外環整備の代替案について、第6回会議及び第7回会議では外環の整備効果について、第8回会議では環境への影響について、集中的に審議が行われています。

P-I外環沿線協議会、東京都庁の会議室において公開で行われています。開催日程及び資料、会議録はホームページでご覧いただけます。「外環の必要性(案)」の資料の一部を本紙2面で紹介しています。

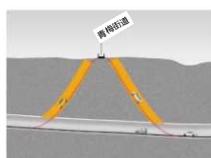
### 東京外かく環状道路の計画



### 東京外かく環状道路(関越道～東名高速)に関する方針(平成15年3月)



### 追加施設及び上部街路の検討



# 外環の効果と影響について

国土交通省と東京都は、東京外かく環状道路について、沿線地域の住民、利用者や国民一般に情報を公開した上で、広くご意見をお聴きしながら検討を進めています。

「必要性」の議論を進めるうえで、「外環の将来交通量」などの資料、「PI外環沿線会議」や「技術専門委員会」で

の様々な意見に基づき、「外環の必要性(案)」の資料を作成しました。現在、この資料をもとに「PI外環沿線会議」で議論しています。

ここでは「外環の必要性(案)」の資料の一部を紹介します。

## 首都圏の交通問題

**【渋滞】**  
首都圏の高速道路や東京西部地域の一般道路では、慢性的な渋滞が発生しています。

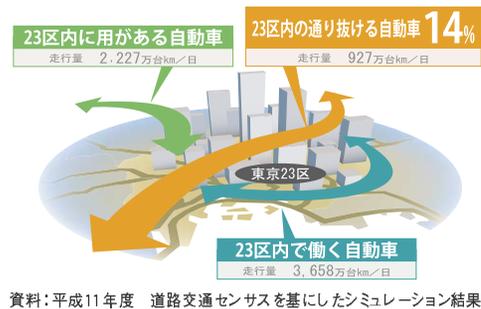
**【災害・事故時の脆弱性】**  
災害発生時の避難や救助、緊急輸送等の復旧活動に必要な幹線道路が脆弱です。

**【環境悪化】**  
自動車の集中、渋滞による停止・発進が繰り返されるため、大気汚染は、依然として厳しい状況にあります。

**【生活道路での事故】**  
環状7号線・8号線の渋滞を避けて通り抜け自動車が生活道路に侵入し、交通事故の原因になっています。

**【問題発生の原因】**  
交通問題発生の原因の一つに通過交通の流入が挙げられます。東京23区の交通の14%、大型車の33%が通過交通です。

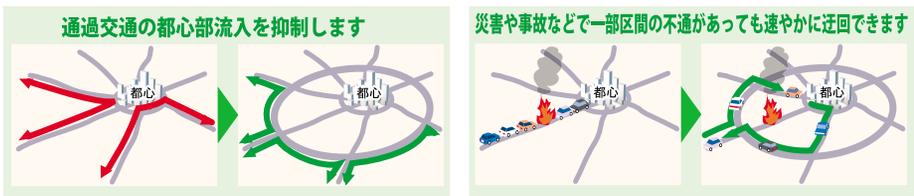
また、環状7号線、環状8号線の交通の2~3割が沿線に用事のない通過交通です。



## 外環整備による効果

### 道路のネットワーク化により多様な機能を実現

環状道路を整備することにより、放射方向の道路ネットワークが連絡され、通過交通の排除、交通の分散誘導や非常時の代替路としての機能など、ネットワーク効果が実現されます。



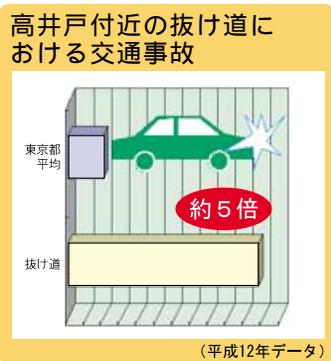
### 環境の改善

外環の整備により、走行速度の向上及び走行量が削減され、大気環境の改善が期待できます。



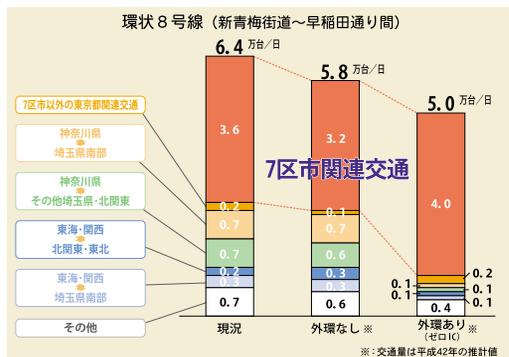
### 生活道路の安全性向上

環状8号線の交通量が減少し渋滞が緩和されれば、生活道路に入り込んでいた通り抜け自動車が環状8号線を走行するようになり、生活道路の安全性が向上すると考えています。



### 環状8号線の利用交通の変化

外環を整備する場合と、整備しない場合を比べて、環状8号線の交通量は約1~2割減少すると見込まれます。沿線7区市に關係しない通過交通が大きく減少し、一方、地元7区市に關係する交通は増加すると見込まれます。



### 経済効果



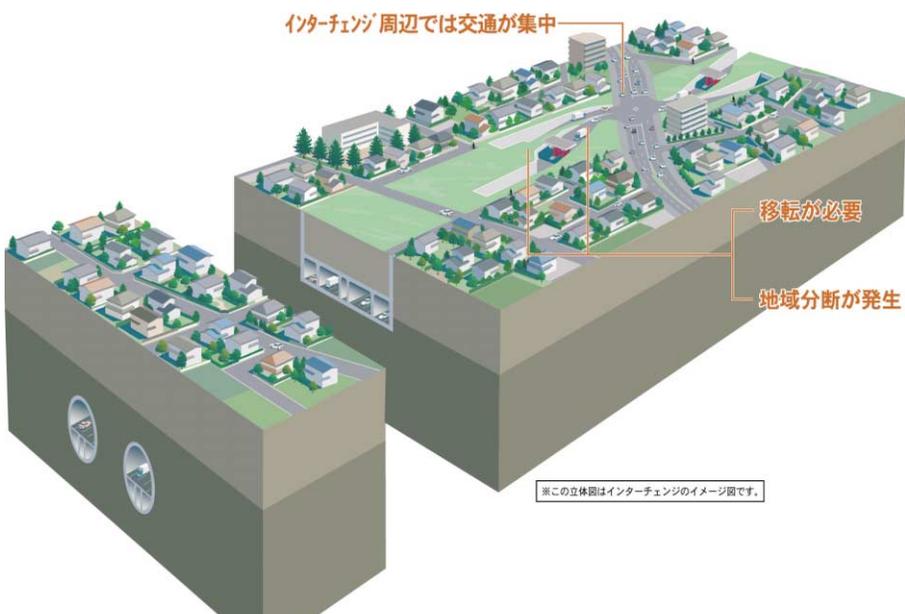
### 費用対効果は

**B/C=3.3** (ゼロCの場合)

外環を整備する場合に建設及び管理に要する費用(C)と、供用後40年間の事業に伴う経済便益(B)を、それぞれ現在価値に換算し、比較しています。  
\*費用便益マニュアル(H15、8国土交通省道路局都市地域整備局)に基づき算出

## 周辺環境への影響

地域への影響を極力抑えるようシールド工法による大深度地下の活用を検討していますが、ジャンクションやインターチェンジ付近では、地域分断、建物の移転、交通の集中による影響などが生じる可能性があります。



### 騒音・振動・排気ガス

地上への連絡路が必要なインターチェンジやジャンクション付近では、騒音・振動・排出ガスの影響が生じる可能性があります。

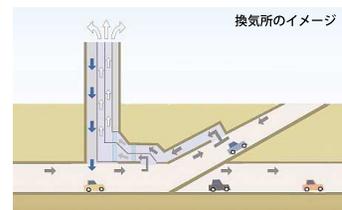
### 環境施設帯

沿線への騒音を低減するとともに、緑豊かな道路空間を創出します。



### 換気所

換気所については、インターチェンジがない場合、関越道、中央道、東名高速の各ジャンクションに必要となります。インターチェンジを設置する場合には、インターチェンジの設置箇所や形式等によって換気所が必要になると考えています。



今後、影響を評価し、具体的な対策を検討します。

各地域の効果と影響について

計画の構想段階から沿線地域の課題について具体的に検討し、想定される様々な案を提示して、地域の皆さんのご意見をお聴きしていくことが重要だと考えています。

このため、外環の効果と影響等についてとりまとめ、

今年1月以降、沿線各区市で、「オープンハウス」及び「意見を聴く会」を開催しています。これまでのところ、「三鷹市～調布市」「狛江市～世田谷区」「武蔵野市」の各地域毎に資料をとりまとめており、ここではその一部を紹介します。

外環計画の経緯と今後の検討の流れ

外環の検討にあたっては、沿線地域の課題について具体的に検討し、また、想定される様々な案について提示し、地域のみなさんのご意見をお聴きしながら進めています。

Timeline table showing planning stages from April 2021 to January 2018, including 'Plan Outline', 'Policy on Ring Road', 'Environmental Impact Assessment', and 'Field Investigation'.

今回、事前に様々な検討案についてご意見をお聴きします。

- List of activities: 'Road plan and impact prediction/evaluation', 'Municipal plan amendment', 'Public hearings', and 'City plan amendment'.

地域の課題(狛江市～世田谷区の間)の例

地域によって、地域独自の課題があります。下表は、これまでの狛江市、世田谷区での地域毎の話し合いで出された課題です。

Table with 2 columns: 'Item' (e.g., Environmental Necessity, Noise/Vibration, Air, etc.) and 'Local Issues' (e.g., Need for outer ring, noise countermeasures, etc.).

インターチェンジの効果と影響(三鷹市～調布市の区間の例)

インターチェンジ(IC)の有無によって、地域への効果や影響が異なり、外環の必要性の議論に影響を与えることから、事前に4つの案を提示し、道路交通への影響、利便性、生活の影響、環境への影響、事業費等の視点から比較し、ご意見をお聴きしています。下図は、外環と中央道とのジャンクション、東八道路ICや国道20号ICの計画地域である三鷹市～調布市の区間で検討された資料です。

A インターチェンジを設置しない場合



C 東八道路南側に東名方向、国道20号北側に関越方向へ行き来できるインターチェンジを設置する場合



B 東八道路と国道20号に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案



D 東八道路南側に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案



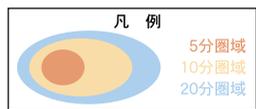
Legend for maps C and D, defining symbols for interchanges and traffic directions.

利便性の向上(武蔵野市の区間の例)

外環を整備した場合の沿線地域での利便性の向上を示すことにより、外環の必要性等について意見をお聴きしています。右図は、武蔵野市の区間で検討された資料です。

最寄りのインターチェンジまでのアクセス時間の変化

外環本線に加えてインターチェンジが設置されると、武蔵野市のほぼ全域において、インターチェンジまでのアクセス時間が5分～10分以上の短縮となります。



外環にインターチェンジがない場合



外環にインターチェンジがある場合※

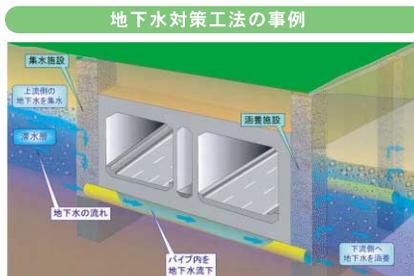
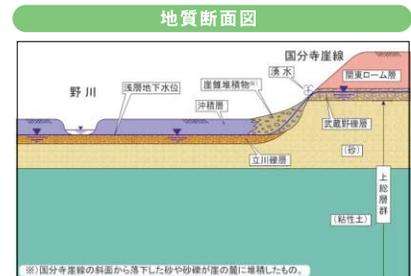


※外環にインターチェンジがある場合とは、昭和41年に都市計画決定された5箇所のインターチェンジがあると仮定した場合のこと

環境への影響(狛江市～世田谷区の間)の例

大気質、地下水、動物、植物、生態系等、環境への影響の範囲や程度、対策の事例などを示しています。

下図は狛江市～世田谷区の間地下水の状況と対策工法の事例に関する資料です。



地下構造物の建設等により、地下水の流れを阻害する場合には、上流側の地下水を集めて、透水施設を通じ、下流側へ流れるようにして、地下水の流れを確保します。

「外環の効果と影響について」、「各地域の効果と影響について」の資料の全ては、インターネットで公開しています。

# 各地区でオープンハウス。意見を聴く会開催

1月以降、国と東京都では沿線区市の協力で、東京外かく環状道路の情報を提供するオープンハウス及び意見を聴く会を開催しています。

オープンハウスでは、外環のこれまでの経緯や、現在の状況、地域の課題をわかりやすく紹介するパネルやインターネットの模型、図面その他、各種パンフレットを用意し、行政の担当者ご来場者に説明、ご意見を聴き、疑問や相談に個別に応じています。

意見を聴く会では、P I協議会の2年間のとりまとめやP I会議の状況、環境調査について報告するとともに、地域ごとの課題と外環整備による効果や影響をまとめた資料を提示し、ご来場の方々から意見を伺いました。

参加者からは、「人口が減少すれば交通量は減るのではないか」「外環を建設しても車の利用が増えて渋滞は解消しないのではないか」といった意見が出されるとともに、「この地域に

関係のない人が外環を利用するためにこの地域が犠牲になることは納得できない」「いずれにしても早く結論を出してほしい」「渋滞の解消や利便性の向上よりもこの地域の環境維持が大切」「トネルの安全性が心配」などの意見が出されました。また、インターチェンジ設置の是非、地上部街路などについても、多くの意見が出されました。

意見を聴く会は、1月以降、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区、武蔵野市で計10回開催、228名にご来場いただきました。今後の開催予定については、ホームページをご覧ください。



意見を聴く会(狛江市谷戸橋地区センター)

### ●オープンハウス・意見を聴く会の開催状況

日程	場所	オープンハウス	意見を聴く会	日程	場所	オープンハウス	意見を聴く会
1月25日	三鷹市井の頭コミュニティセンター	37名	30名	2月19日	世田谷区砧小学校	39名	21名
1月29日	三鷹市新川・中原コミュニティセンター	53名	27名	2月21日	世田谷区喜多見東地区会館	25名	19名
1月30日	調布市緑ヶ丘地域福祉センター	43名	23名	2月22日	狛江市谷戸橋地区センター	48名	25名
2月3日	三鷹市役所	67名	-	3月26日	武蔵野市武蔵野総合体育館	41名	32名
2月4日	三鷹市役所	90名	10名				
2月9日	調布市東部公民館	40名	29名	3月16日 6月22日	三鷹市北野外環オープンハウス会場(9回)	334名	
2月14日	調布市文化会館たづくり	52名	12名				

### ●今後の開催予定

地区	日程	オープンハウス	意見を聴く会	会場
練馬区	7月12日(火)	PM.1:30~PM.6:00	PM.6:30~PM.8:30	勤労福祉会館
練馬区	7月13日(水)	PM.1:30~PM.6:00	PM.6:30~PM.8:30	関区民センター
杉並区	7月14日(木)	PM.5:30~PM.8:30	PM.6:30~PM.8:30	久我山会館
杉並区	7月15日(金)	PM.1:30~PM.4:30	PM.6:30~PM.8:30	西荻地区区民センター

開催予定の詳細については、フリーダイヤルにお問い合わせ下さい。

☎ 0120-34-1491 (外環専用フリーダイヤル)



常設外環オープンハウス(三鷹市北野)



オープンハウス(調布市文化会館たづくり)

## 技術専門委員会を設置

# 外環の必要性や沿線地域の課題に関する資料の妥当性を審議

ご来場をお待ちしております。

東京外かく環状道路調査事務所では、外環の必要性に関する資料や沿線地域の課題に関する資料について、技術的見地からその妥当性等を審議する「東京外かく環状道路の計画に関する技術専門委員会」を設置しました。

第2回の委員会では、将来交通量について審議され、「感度分析が重要」「推計の手法について継続的な検討が必要」といった指摘がありました。

第4回の委員会では、外環を整備した場合の環境改善効果や、費用便益分析の感度分析、誘発交通の考慮について審議されました。最後に委員長から「委員会として審議してきた事項の評価や、課題の整理が必要。例えば必要性の説明は十分なのか、今後の検討の進め方など、各委員から意見を出してもらい、とりまとめをすべきではないか」との提案があり、次回の委員会でもまとめていくこととされました。

1月21日に第1回会議が開催され、これまでに4回開催されました。第1回委員会では、これまでの計画検討の経緯や、P I協議会などで提示されている資料、委員会の審議事項の確認後、地域ごとに提示する資料に関する審議が進められました。

第3回の委員会では、環境への影響や、費用対効果分析、外環の必要性に関する資料について審議され、「環境改善効果は定量的に示すべき」「必要性の議論にあたっては、検討を深めつつ資料を順次提示していくことが重要」「環境への影響の資料は、今の段階ではこれでいいと思うが、計画検討が進めば、また課題が出てくる」といった指摘がありました。

なお、同委員会は公開で行われていて、傍聴ができます。資料、会議録はホームページをご覧ください。



第3回技術専門委員会

### 東京外かく環状道路の計画に関する技術専門委員会 名簿

委員長	石田 東生	筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授
委員	浅野 光行	早稲田大学理工学部教授
	北林 興二	工学院大学工学部教授
	竹内 健蔵	東京女子大学文理学部教授
	真下 英人	独立行政法人土木研究所 基礎道路技術研究グループ 首席研究員

三鷹市で常設の外環オープンハウス開催中

## 外環の最新情報を提供しています。

三鷹市北野3丁目において常設のオープンハウスを設置し、開催しています。より多くの皆様のご来場をお待ちしております。

今後の開催予定

7月9日(土)・7月19日(火)	開催時間
8月2日(火)・8月21日(日)	午後1時~午後5時

今後の開催予定については、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ  
国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状道路調査事務所  
TEL&FAX 0120-34-1491 (外環専用フリーダイヤル)  
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>  
e-mailアドレス [gaikan@ktr.mlit.go.jp](mailto:gaikan@ktr.mlit.go.jp)



三鷹市の常設外環オープンハウス



交通  
みたかシティバス:三鷹駅南口から「北野」行き30分「北野」バス停下車  
小田急バス:吉祥寺駅南口から「北野」行きバス(吉12)26分「北野」バス停下車  
関東バス:千歳鳥山駅東口「幸礼7丁目」行きバス(毎20:10分「北野」バス停下車  
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関等をご利用ください。